

留 学 報 告 書

記入日:2016年5月31日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部 国際日本学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: メンフィス大学 現地言語: The University of Memphis
留学期間	2015年8月～2016年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2016年5月19日
明治大学卒業予定年	2018年3月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input checked="" type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月下旬～12月上旬 2学期:1月中旬～4月末 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約17,200人
創立年	1912年

留学費用項目	現地通貨(ドル)	円	備考
授業料	9300	985,800円	
宿舍費	6600	700,000円	
食費	2500	265,000円	
図書費	0	0円	
学用品費	500	53,000円	
教養娯楽費	0	0円	
被服費	500	53,000円	
医療費	20	2,120円	
保険費	765	80,000円	形態:大学指定の海外旅行保険
渡航旅費	2500	265,000円	
雑費	0	0円	
その他	0	0円	
その他	0	0円	
その他	0	0円	
合計	22,685	2,403,920円	1ドルを106円として計算。

渡航関連

渡航経路: 羽田→ロサンゼルス→メンフィス(往路)、メンフィス→ロサンゼルス→成田(復路)

渡航費用

チケットの種類	エコノミー
往路	1000ドル
復路	450ドル
合計	1450ドル

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

往路→楽天トラベルで予約。

復路→メンフィスからロサンゼルスまでは South West、ロサンゼルスから成田まではシンガポール航空。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の宿舎

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数3人)

3)住居を探した方法:

大学からの斡旋。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私が暮らしていた、カーペンターコンプレックスという寮はキッチン、バスルームなどの共用スペースはありますが、一人一人に個人部屋がついており、プライバシーも守られていたので生活に不快感を感じることはほとんどありませんでした。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか?大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:一度だけ大学内のメディカルセンターを利用しました。

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

メンフィス大学の留学担当の方によく相談していました。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

キャンパス内、付近で起こった事件などをメールでお知らせしてくれるサービスがあります。

幸いにも、留学中犯罪に巻き込まれたことは一度もありませんでした。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

キャンパス内と、寮には wifi が通っています。個人的には、たまに繋がりにくい場合があったように感じましたが特に問題はないと思います。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地では、ほとんどクレジットカードで生活していました。学費を支払う際に、現金が必要だったので Western Union というサービスを使って親から現金を送ってもらいました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

卒業後の進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
African and African American Studies	アフリカ系アメリカ人の歴史
科目設置学部・研究科	African Studies
履修期間	秋学期
単位数	3単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に55分が3回
担当教授	Professor D L. Malone
授業内容	アフリカ系アメリカ人の歴史について学ぶ授業です。主に、人種差別についてメインで取り扱っていました。
試験・課題など	学期中に、小レポートが5枚、テストが3回ありました。また、学期末には期末レポートがあります。
感想を自由記入	履修した授業の中で、一番ハードでした。中でもテストは一冊テキストが終わることに課されたため試験範囲がとて広く勉強が大変でした。少人数のクラスだったため教授と仲良くなることができ、分からないことを質問すればいつも分かりやすく説明してくれました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Business of Hospitality	ホスピタリティービジネス
科目設置学部・研究科	Kemmons Wilson School of Hospitality & Resort Management
履修期間	秋学期
単位数	3単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に85分が2回
担当教授	Professor Inna Soifer
授業内容	ホスピタリティービジネスについて、学ぶ授業です。ホテル業界、レストラン業界、航空業界など幅広い業界について、どのようなビジネスを展開しているのかを勉強します。
試験・課題など	試験は中間に一つあります。また、毎週オンライン課題がありました。
感想を自由記入	ホスピタリティーを学びたかった私にとっては、とても興味深い授業でした。ホテル業界以外についても学ぶことができ、とても為になる授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Theatre		演劇入門	
科目設置学部・研究科	Theatre		
履修期間	秋学期		
単位数	3単位		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	Professor Alice Berry		
授業内容	演劇の歴史について学ぶ授業です。		
試験・課題など	試験は学期内に3回ありました。また、演劇専攻の学生たちによって行われる作品を3つ鑑賞し、それらについてのレポートを提出する必要がありました。		
感想を自由記入	授業が夜かつ3時間だったので、体力的に辛かったです。学生によって行われる作品を鑑賞するのは楽しく、とても刺激を受けました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Managing hotel & resort operations		ホテル経営学	
科目設置学部・研究科	Kemmons Wilson School of Hospitality & Resort Management		
履修期間	秋学期		
単位数	3単位		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に85分が2回		
担当教授	Dr. Eun Kyong Choi		
授業内容	ホテルビジネスについての授業です。ホテル経営における専門知識や、それぞれの部門の仕事について詳しく学びました。		
試験・課題など	試験は2つありました。課題は授業で扱った公式を使った計算問題や小レポートが出されることが何回かありました。また、期末にペアでのプレゼンテーションが課されました。		
感想を自由記入	ホテル業界にとっても興味があるので、毎回授業が楽しみでした。教授も、留学生である私にとっても気を使ってくれてオフィスアワーに質問に行くと、毎回優しく答えてくれました。授業内で行ったホテルツアーもホテルの裏側を見学することができ、貴重な経験でした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Human Resource Management		人事経営論	
科目設置学部・研究科	Fogelman College of Business		
履修期間	春学期		
単位数	3単位		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に85分が2回		
担当教授	Dr. Alex Rubenstein		
授業内容	人事の仕事について学ぶ授業です。候補者の募集、採用活動、社員の育成など仕事に分けて詳しく勉強しました。		
試験・課題など	試験はオンラインで3回あります。課題は、2週間に一回ほどOnline Quizがありました。		
感想を自由記入	朝8時からの授業だったので、慣れるまでは大変でした。授業内容には、就職活動にも役立つような情報もあって為になる授業でした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Principles of Marketing		マーケティングの原理	
科目設置学部・研究科	Fogelman College of Business		

履修期間	春学期
単位数	3単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に85分が2回
担当教授	Dr. Tracy Cosenza
授業内容	マーケティングとは何かについて学ぶ授業です。市場調査、商品製作、宣伝などの段階に分けて詳しく勉強しました。
試験・課題など	試験は学期内に4回あります。また、自分で選んだ企業のリサーチペーパー2枚と自分で考えたマーケティング案を提出するという課題がありました。
感想を自由記入	マーケティングにはずっと興味があったので、毎回楽しみに受講していました。色々な企業の商品製作、宣伝のからくりの仕組みが分かってきたりと、とても面白かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
General Psychology	心理学
科目設置学部・研究科	Psychology
履修期間	春学期
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に55分が3回
担当教授	Dr. William Dwyer
授業内容	心理学の基礎から学ぶ1年生向けの授業です。性格や感情、心の病気、その治療法などについて広く学びました。
試験・課題など	試験は学期内に3回あります。課題はありませんでした。
感想を自由記入	個人的に少し心理学に興味があったので受講しました。時折理系の知識も入ってきたりと難しいときもありましたが、全体として振り返ると色々納得させられることもあったりと面白かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Organization and Management	経営学
科目設置学部・研究科	Fogelman College of Business
履修期間	春学期
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に55分が2回
担当教授	Dr. Kathy A. Tuberville
授業内容	リーダーになるために必要なノウハウを学ぶ授業です。
試験・課題など	試験は期末試験を含めて5回ありました。課題は、毎週オンライン課題がありました。
感想を自由記入	試験も多く、毎週課題もあったためとてもハードな授業でした。しかし、その分沢山のビジネスの知識を学ぶことができたので、とても充実していました。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2014年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	TOEFL 受験
10月～12月	協定留学の選考 TOEFL 受験
2015年 1月～3月	メンフィス大学へオンライン出願
4月～7月	入学許可書到着
8月～9月	8月中旬 メンフィスへ出発 8月下旬 秋学期授業開始
10月～12月	12月上旬 期末試験終了→冬休みへ
2016年 1月～3月	1月中旬 春学期授業開始
4月～7月	5月上旬 期末試験終了 5月中旬 帰国
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	私にとって留学は長年の夢でした。なので大学では必ず留学しようと決めていました。留学したかった理由はいくつかありましたが、一番大きかった理由は自分の視野を広げて国際感覚を身につけたかったからです。実際留学して、ありきたりな表現ではあるけれど視野が広がり、海外志向も強くなりました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	英語力を日本にいたときから上げておくことは重要であると感じました。特に、語彙です。課題でレポートを書くときや、コミュニケーションをとるときなど色々な面で語彙力は役立ちます。また、留学先で日本の文化などについて聞かれることも多かったので日本についての知識を深めておくことも大切だと思います。
この留学先を選んだ理由	私は留学先では、主にホスピタリティーを学びたいと考えていました。そんな中、メンフィス大学にはホテルが併設されていて、ホスピタリティーの授業やプログラムに定評があると聞き、私にはぴったりだと思ったからです。実際、授業内容はとても充実していることになる授業ばかりでした。春には、ホスピタリティーを専攻している学生向けに大きなキャリアフェアが行われていました。
大学・学生の雰囲気	キャンパスは緑に囲まれていて落ち着いた雰囲気です。また、キャンパスはとても広く歩くだけでも良い運動になります。学生は、気さくでアットホームな人たちが多かった印象です。
寮の雰囲気	ほとんどの留学生が同じ寮に住んでいたため、みんなで集まることがよくありました。週末にパーティーをしたりすることも多かったです。友達の部屋で一緒にご飯を作ったりもしました。思い返してみれば、寮で遊ぶことが一番多かったかもしれません。ルームメイトとそこまで仲良くなれなかったことが残念でした。
交友関係	初めのころは友達ができるかどうか不安でしたが、大学で日本語を勉強している学生との交流を通して徐々に友達が増えていきました。また他の留学生とも仲良くなり、週末にパーティーをしたりととても楽しかったです。後期からは、留学生と現地の学生との交流サークルに入り、より交友の輪が広がりました。
困ったこと、大変だったこと	今までに授業料負担型でメンフィス大学に行った先輩がいなかったため、金銭面であまり渡航前に情報が得ることが出来ず苦労しました。また、日本から持って行ったクレジットカードの限度額が低く授業料と寮費が払えなかったということがありました。なので、限度額が高めのものか家族カードを持っていくことをお勧めします。
学習内容・勉強について	私がメンフィス大学で主に学んだのはホスピタリティーでしたが、他にも自分の興味がある授業はすすんで履修しました。(ビジネス、心理学など)どの授業でも教授たちは優しく、オフィスアワーに質問に行くといつも優しく教えてくれました。中にはハードな授業もありましたが、課題や試験で良い成績がもらえると嬉しくてそれが勉強のやりがいになっていました。私が履修した授業の中でも、ビジネスの授業はこれからの将来に役立つような知識ばかりでとても新鮮でした。
課題・試験について	授業によって試験の形態や難易度は異なりました。簡単なものもありましたが、中には試験範囲が広く難しいものもありました。試験期間中は、一日4時間以上勉強することもしばしばで受験生に戻ったような気分でした。とても辛く感じることもありましたが、試験で良い成績がとれると嬉しく、それが私の勉強のモチベーションになっていました。
大学外の活動について	私はもともと明治大学で合唱団に所属していることもあって、留学中も何らかの形で歌を続けたいと思っていました。そんなとき、友人が自分が所属している教会の聖歌隊に私のことを誘ってくれました。毎週日曜日にあの教会で歌えたことはとても良い貴重な経験です。また、キリスト教についても理解が深まりました。
留学を志す人へ	留学を経て思うことは、留学とは自分で作っていくものなのだと思います。私にとって留学はとてもかけがえのない経験になったし、自分自身成長できた場でもありました。なので、もし留学をしたいという強い気持ちがあるのならぜひそのチャンスを掴んでほしいと思います。留学をする上で一番大切なのは、自分が何のために留学するかという目標意識を見失わないことです。留学前にどれだけ目標がしっかりしているかによって、得るものの量も変わってくると思います。

1週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中		授業		授業			教会に行く
	授業		授業	ジム	授業		
午後		授業		授業	友人と遊ぶ	自習	自習
						友人と遊ぶ	
夕刻		ジム					
夜			聖歌隊の練習				

